



バスダイヤ編成支援システムの**基本**の**基**

君にもできる！「標準的なバス情報フォーマット」
底なし沼へようこそ！ 本当は怖いバスダイヤ編成

国土交通省「標準的なバス情報フォーマット」がもたらす改革

市販のダイヤ編成支援システム

A社のシステム

B社のシステム

C社のシステム

好みのシステムを選べる

無償で使えるツール

見える化共通入力フォーマット

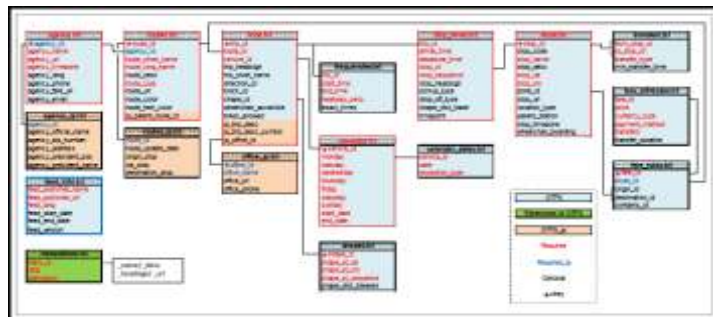
ダイヤ編成支援システム「その筋屋」

Excelなどで手入力

無償のツールも整備中（根性で手入力も可）

国土交通省「標準的なバス情報フォーマット」

選択の自由が
生まれる



「国土数値情報」

常に最新情報に

バスロケ

開発会社

データの更新が容易に

乗換案内

Google乗換案内 ヴァル研究所
ジョルダン ナビタイム 駅探など

データを送る場所の一元化で手間削減
C Pのデータ整理の手間も削減

帳票など

インターネット時刻表 基本回数表 系統一覧表
停留所時刻表（標柱に貼り出すもの）
路線時刻表 運行表・スタッフ 電子スタッフ

※青色は、今後のフォーマット拡張で期待できるもの。
データは勤怠などの後方システムとの連携にも使えます。

実力があるIT企業の新規参入

大切

ダイヤ編成支援システム「その筋屋」 データ入力の基本

「その筋屋」でスジを引くまでの流れです。

● 「改正ダイヤ」を作成 ○年○月○日 改正

基礎データ

- 停留所を登録
 - 路線を登録
 - 路線に所属する系統（経路）を登録
 - 区間時分を登録

● 基礎データを利用してスジを引く

追加入力すると利用できる機能 ※簡素に書いてます

- ・ 系統（経路）の通過停留所に、**標柱番号**と**行先・経由**を入力すると**停留所時刻表**
- ・ 停留所に**緯度・経度**を入力すると**経路地図**
- ・ 上記全てと**事業者情報**を入力すると「**標準的なバス情報フォーマット**」

基礎データの作成例

仙台→東京→名古屋→岡山の路線と系統を空白状態から作成してみましょう。
実際に作成してみることで、「その筋屋」のデータ仕様を理解できます。

①空白の「改正ダイヤ」を作成します。

改正ダイヤ一覧

改正ダイヤ一覧
フリーウェア版（事業者ID 未登録） 登録

	改正日	現在の編成参加者	編集日時	保護
1	2017年04月01日（サンプル-宇野バス）	現在の編成者はいません	20170514 23:30	
2	2017年01月01日（サンプル-電車）	現在の編成者はいません	20170514 23:29	
3	2016年01月11日（基礎データの最小サンプル）	現在の編成者はいません	20170514 23:29	
4				
5				
6				
7				

①「ダイヤの追加・編集」にチェックを入れて下さい。

②お好みの改正日を設定して、「付加する文字列」の欄には「練習」と入れてください。

改正日
2017年 05月 18日

付加する文字列
練習

新規ダイヤ（空白）

改正ダイヤ一覧

改正ダイヤ一覧
フリーウェア版（事業者ID 未登録） 登録

	改正日	現在の編成参加者	編集日時	保護
1	2017年05月18日（練習）	現在の編成者はいません	20170514 23:43	
2	2017年04月01日（サンプル-宇野バス）	現在の編成者はいません	20170514 23:30	
3	2017年01月01日（サンプル-電車）	現在の編成者はいません	20170514 23:29	
4	2016年01月11日（基礎データの最小サンプル）	現在の編成者はいません	20170514 23:29	
5				
6				
7				

改正日
2017年 05月 18日

付加する文字列
練習

新規ダイヤ（空白）

「新規ダイヤ（空白）」ボタンを押すと、左側のリストに改正ダイヤが作成されます。

編成開始

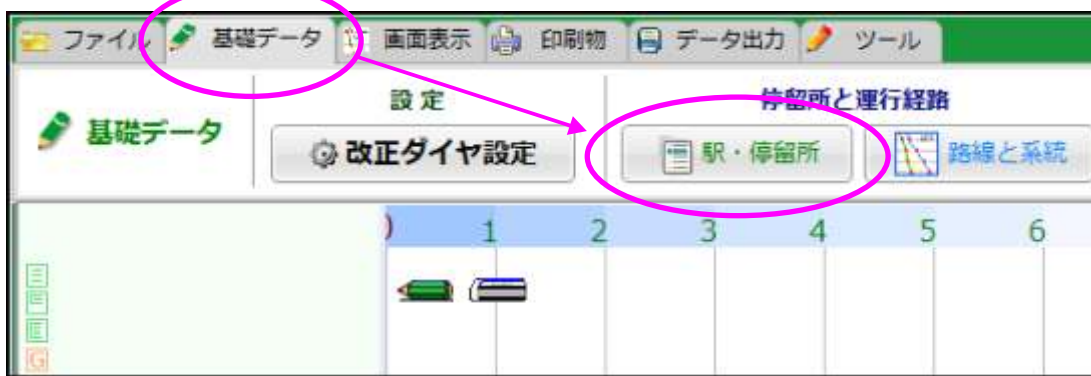
その筋屋 終了

基本設定

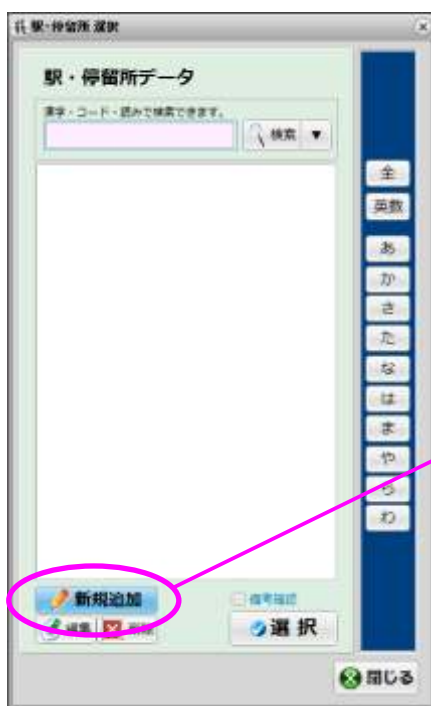
作成した改正ダイヤを選択して「編成開始」ボタンを押しましょう。

これで練習の準備は完了です。
停留所データを入力してみましょう。

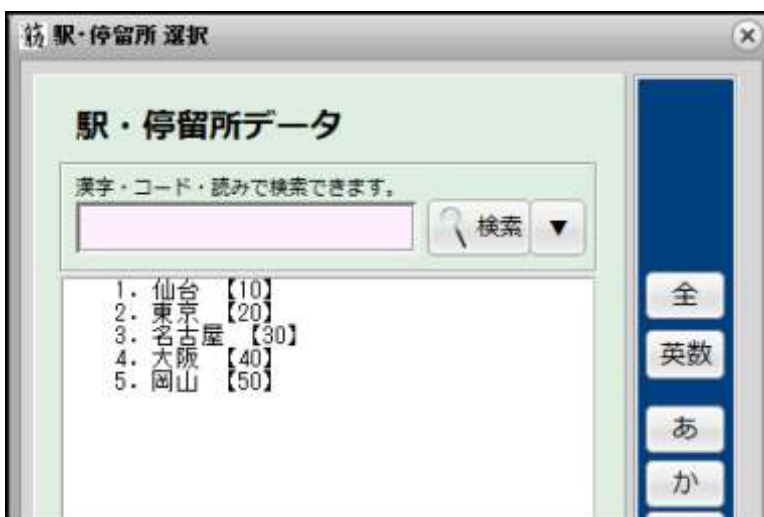
② 停留所の基礎データを入力してみましょう。



上部の「基礎データ」をクリックして、「駅・停留所」ボタンを押しましょう。
「駅・停留所データ」ウィンドウが開きます。



「新規追加」ボタンを押すと、「駅・停留所」ウィンドウが開きますので、上図のように「仙台」を入力して「保存」ボタンを押してください。



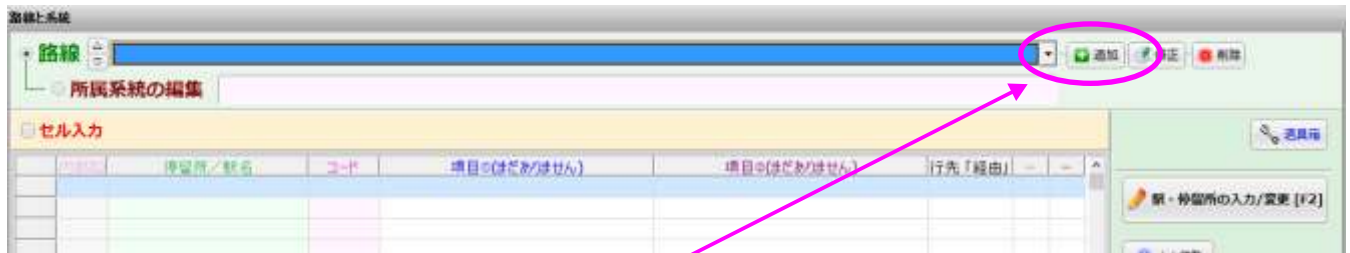
左図のように岡山まで入力してみてください。

お疲れさまでした。次に路線データを入力してみましょう。

③ 路線データを入力してみましょう。



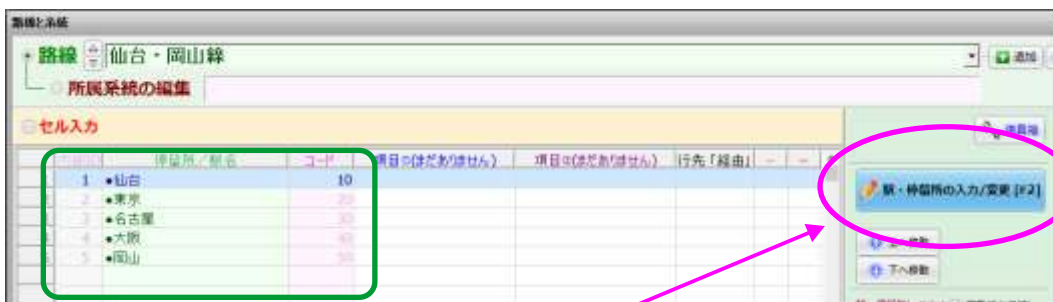
上部の「基礎データ」をクリックして、「路線と系統」ボタンを押しましょう。
「路線と系統」ウインドウが開きます。



路線の「追加」ボタンを押しましょう。

図のように路線情報を入力して
「登録」ボタンを押してください。

ダブルクリックで「仙台」を
選択してみてください。
路線に「仙台」を追加できます。



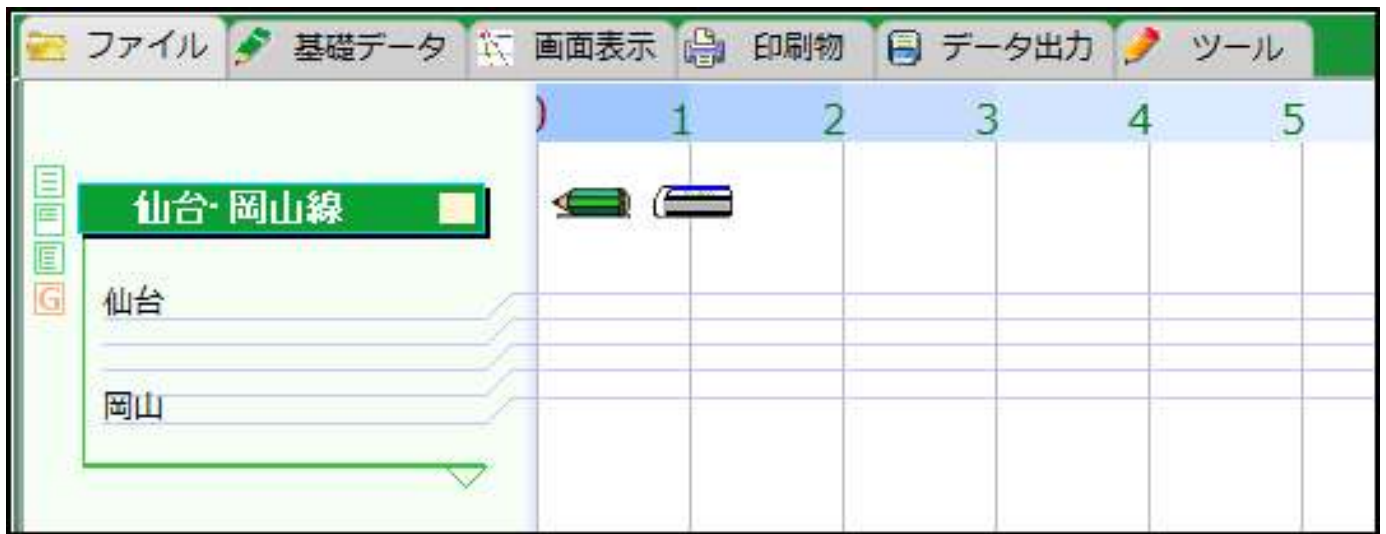
停留所選択画面

右側の「駅・停留所の入力/変更」ボタンを押すと、路線に停留所の並びを追加できます。
図のように停留所を5つ並べてみてください。

路線の停留所を5つ並べたら、右下の
「閉じる」ボタンを押しましょう。



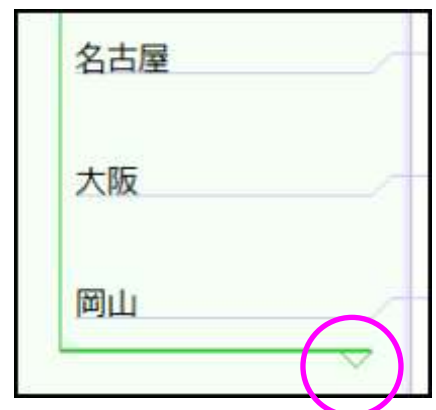
スジ画面に、このような表示が出れば
路線登録はOKです。



路線名をクリックすると表示が広がって、省略されている停留所を確認できます。



この3つのアイコンも
クリックしてみてください。



ここをマウスで上下に
ドラックしてみてください。

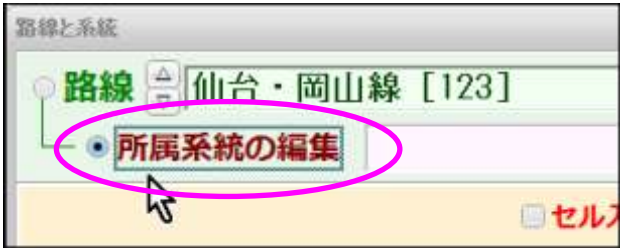
お疲れさまでした。

一休みしたら、次に系統（経路）を登録してみましょう。

④ 系統経路データを入力してみましょう。



上部の「基礎データ」をクリックして、「路線と系統」ボタンを押しましょう。「路線と系統」ウィンドウが開きます。



路線「仙台・岡山線」が選ばれた状態で、「所属系統の編集」をクリックします。

系統データを入力する画面に変わります。

新しい系統を入力するので、左下の「系統追加」ボタンを押します。



系統追加

名称①（正式名）
仙台→岡山

名称②（短縮名）
ユー-正式名をコピー
仙台→岡山

説明（わかりやすく役立つ情報を含めます）
[Text Field]

行先などを入力（デジタルサイネージ用など汎用）※省略可
[Text Field]

主な経由地などを入力（デジタルサイネージ用など汎用）※省略可
[Text Field]

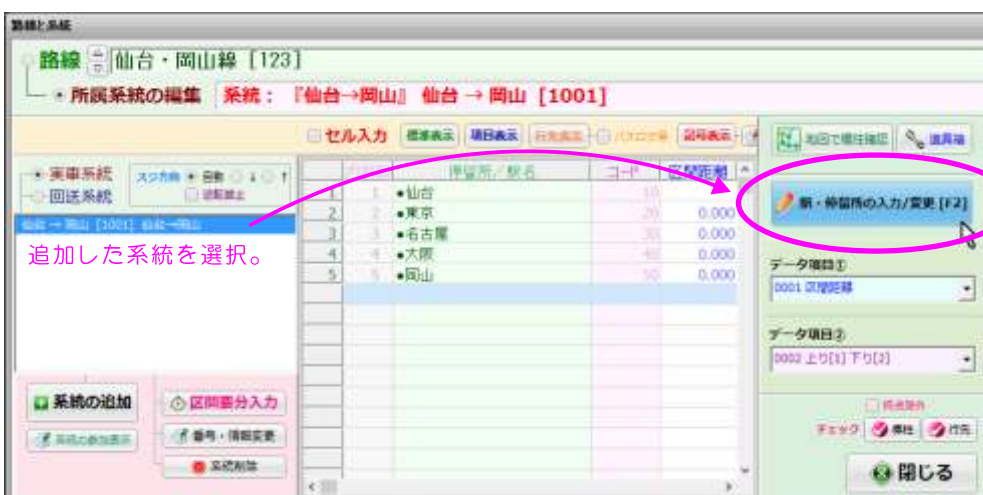
コード（10桁の英数）
1001

☐ 選択していた系統データを全て引用

登録 **キャンセル**

系統情報を上の図のように入力してみてください。入力が終わったら「登録」ボタンを押します。

系統に通過停留所を登録します。「駅・停留所の入力」ボタンを押します。



ダブルクリックで「仙台」を選択してみてください。系統に「仙台」を追加できます。



停留所選択画面

仙台→東京→名古屋→大阪→岡山を通過停留所として系統に登録してみましょう。

系統経路の入力はこれで完了です。次に系統の区間要分を入力してみましょう。

⑤ 系統の区間要分を登録してみましょう。

路線と系統

路線 仙台・岡山線 [123]

所属系統の編集 系統: 『仙台→岡山』 仙台 → 岡山 [1001]

セル入力 標準表示 項目表示 行先表示 バスロケ用 記号表示

実車系統 スジ方向 自動 逆転禁止

同送系統

仙台 → 岡山 [1001] 仙台 → 岡山

系統の追加 区間要分入力 番号・情報変更 系統削除

区間ID	停留所/駅名	コード	区間距離
1	1 ●仙台	10	
2	2 ●東京	20	0.000
3	3 ●名古屋	30	0.000
4	4 ●大阪	40	0.000
5	5 ●岡山	50	0.000

追加した系統を選択してから「区間要分の入力」ボタンを押しましょう。
系統の要分設定ウィンドウが開きます。

系統の要分設定

系統要分 『仙台→岡山』 1001 仙台 → 岡山

表示 縮小 標準 拡大 00:00 ~ 26:00 時間帯の行を追加 時間帯の範囲修正 時間帯の行削除

要分 待機

セル入力 要分入力

仙台	東京	名古屋	大阪	岡山
●	●	●	●	●

00:00~26:00 計 00:00 - 0 0 0 0

「時間帯の行を追加」ボタンを押すと、指定した時間帯範囲の入力行が追加されます。

系統の要分設定

系統要分 『仙台→岡山』 1001 仙台 → 岡山

表示 縮小 標準 拡大 00:00 ~ 26:00

要分 待機

セル入力 要分入力

仙台	東京	名古屋	大阪	岡山
●	●	●	●	●

00:00~26:00 計 00:10 - 1 2 3 4

「セル入力」にチェックを入れると、区間要分を登録できるようになります。

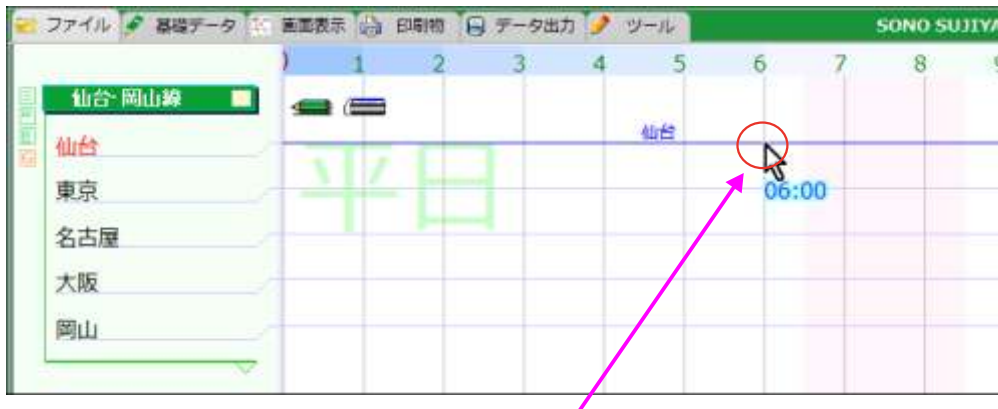
図のように区間要分を入力してみてください。
入力後、右上の「閉じる」ボタンを押します。

閉じる

これで基本的なデータの入力は終わりです。ご苦労様でした。
さあ、スジを引いてみましょう。

⑥ スジを引いてみましょう。

まずは前準備 スジを引きやすくするために、画面を拡大してみましょう。



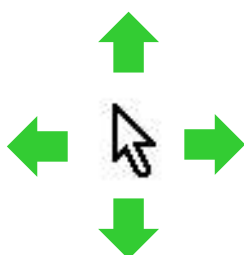
図の位置（仙台の6時）にマウスカursorを移動させてから、
マウスの**右ボタン**を押したまま**上下左右に動かす**と画面全体を**拡大・縮小**できます。



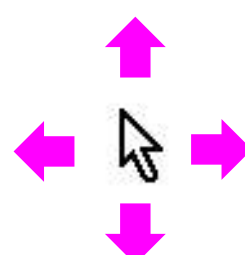
マウスの**左ボタン**を押したまま**上下左右に動かす**と画面の**移動**ができます。
上の図と同じ位置とサイズに画面を調整してみましょう。（少し練習してみましょう）

スジ画面での基本操作

移動・拡大縮小はマウスのボタンを押したまま操作します。



左ボタンで画面移動



右ボタンで画面拡大縮小

スジを引いてみましょう。

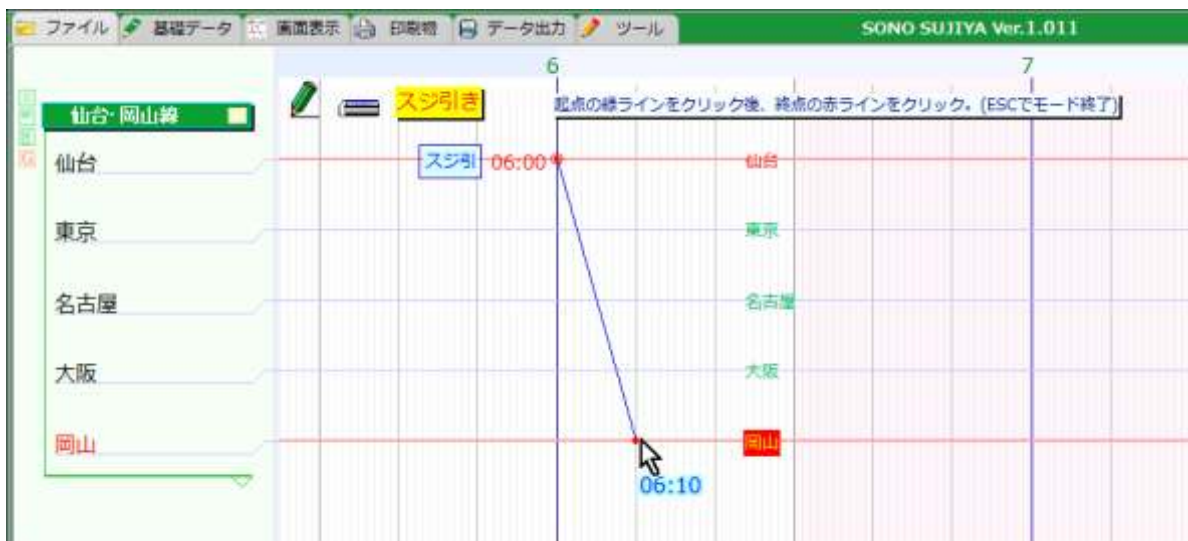


好みのサイズと位置に拡大できたら、**エンピツ**をクリックします。**スジ引き**モードになります。

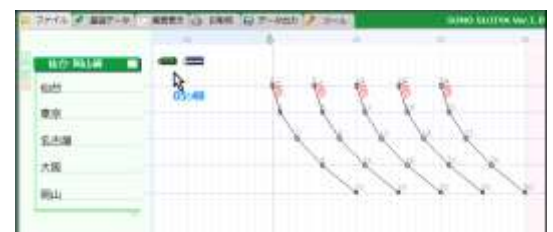
先ほど登録した**系統の起点ライン**（仙台）が**緑色**になるので、**06:00**の位置で左クリックしましょう。



系統の終点ライン（岡山）が**赤色**になるのでクリックします。
（終点をクリックする時間はテキトウで大丈夫です）



先ほど入力した**区間要分の通り**にスジが引かれます。



続けてスジを何本か引いて練習してみましょう。

もう一度**エンピツ**をクリックすると、スジ引きモードを終了できます。

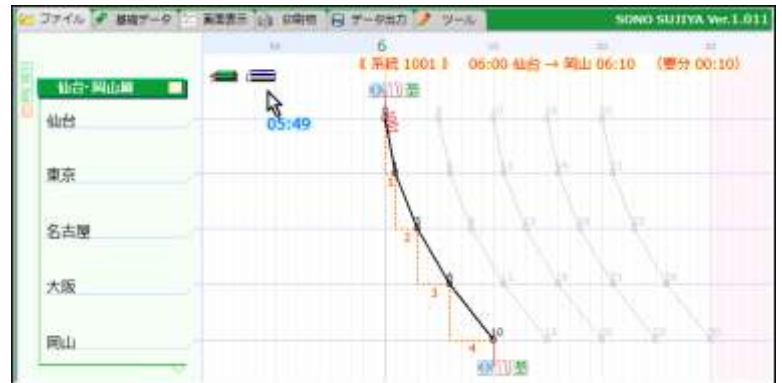
基礎データの基本は以上です。
練習として復路系統を登録したり、
別系統を追加登録してみてください。

スジを消してみよう。



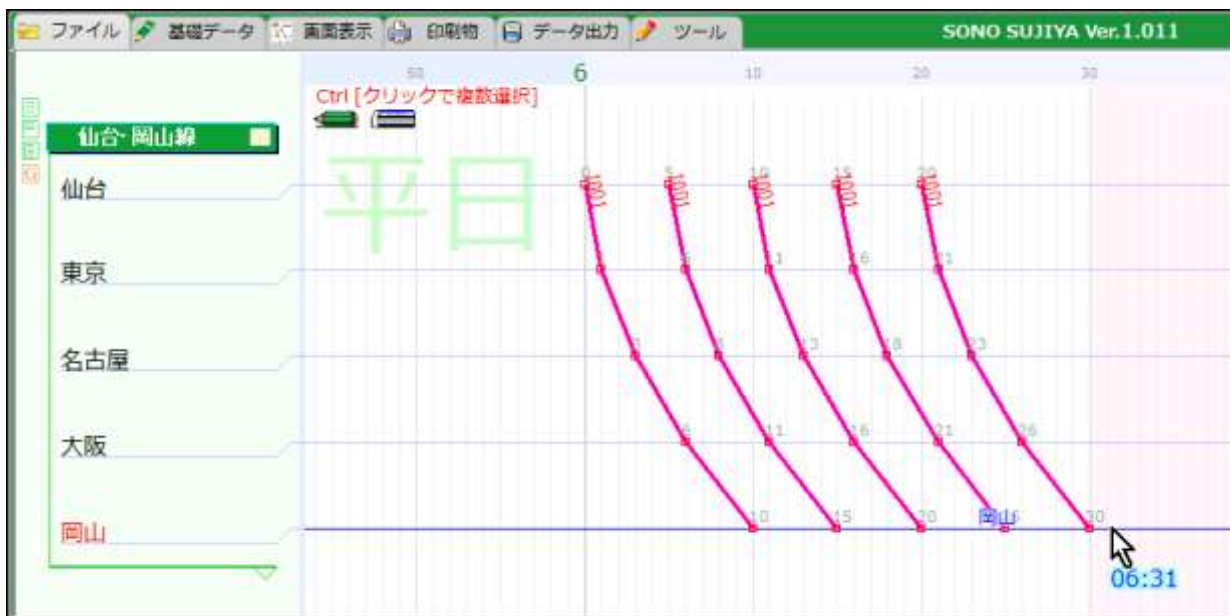
消しゴムをクリックします。
スジ消しモードになります。

スジ消しモード中にスジをクリックすると、
スジを消すことができます。連続で消したい時に便利です。
やってみましょう。

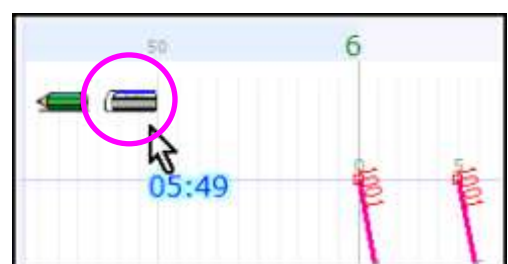


先にスジをクリックして選択状態にしてから
消しゴムをクリックしてもスジは消せます。

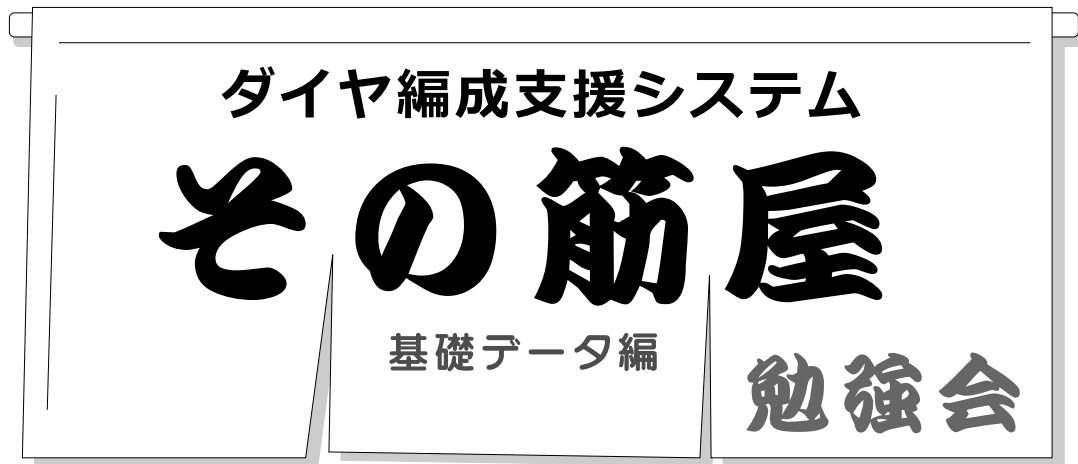
スジを複数いっぺんに消してみよう。



スジ消しモードではない状態で、Ctrlキーを押しながらスジをクリックすると
複数選択ができます。



選択が終わったら消しゴムを
クリックしましょう。



基礎編は以上です。

実践編は2017年6月に公開予定です。